



合併

70th・50th

町制施行

自然と共存していく日の出町の未来へ

「共に学び 支え合い みんなで創る日の出町の教育」

資料1

令和7年度 第1回 日の出町総合教育会議報告

日の出町教育委員会 指導主事 笹井 和也

報告事項

1. 日の出町教育ビジョン2023における取組状況

- ① 日の出町における学力の状況等
- ② 日の出町における体力の状況等
- ③ 日の出町におけるいじめの状況等
- ④ 日の出町における不登校の状況等
- ⑤ 日の出町立学校における働き方改革推進プラン
(日の出町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画)

2. 日の出町教育大綱(日の出町教育ビジョン)の策定について



合併

70th・50th

町制施行

自然と共存していく日の出町の未来へ

1. 日の出町教育ビジョン2023における取組状況

これからを見据えた日の出町の教育 ～日の出町の教育の目指すところ～

共に学び、支え合い、みんなで創る日の出町の教育

大切にしていきたい考え方 ～日の出町の教育振興のための基本方針～

「かかわり」と「つながり」を大切にした教育

相互承認と多様性の尊重に基づく「協働」を大切にした教育

「学びの循環」を大切にした教育

新たな日の出町の教育づくりの進め方 ～取組の方向性～

- ◇子どものしあわせづくりとまちの魅力を生かした学校づくり
- ◇家庭・地域・学校のつながりを重視した取組の推進
- ◇安全・安心で質の高い学びを実現する学校施設及び社会教育施設等の環境整備
- ◇社会教育、文化・スポーツ活動を通して生涯にわたって、共に学び、支え合う地域づくり

教育行政の今後の展開

- ◇一人一人を重要な教育の担い手とする社会総がかりの教育風土づくり
- ◇教育の展開を通じた協働の広がり地域コミュニティの一体感の醸成
- ◇行政の横断的なつながりを重視した施策展開



合併

町制施行

70th・50th

報告事項

①日の出町における学力の状況等

現状(令和7年度全国学力・学習状況調査結果)

認知能力には課題が見られる一方、非認知能力については成果が見られる。

【認知能力】

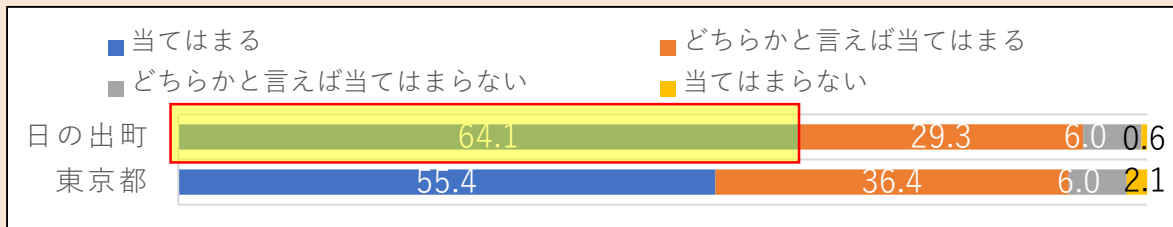
正答率 (%)	国語			算数・数学		
校種	日の出町	東京都	都との差	日の出町	東京都	都との差
小学校 (第6学年)	62.0	70.0	▲8.0	52.0	64.0	▲12.0
中学校 (第3学年)	51.0	57.0	▲6.0	38.0	53.0	▲15.0

- 東京都第一四分位(D層)に該当する児童・生徒が、4割いる。
- 特に、算数・数学においては、正規分布ではなく二峰性が見られる。

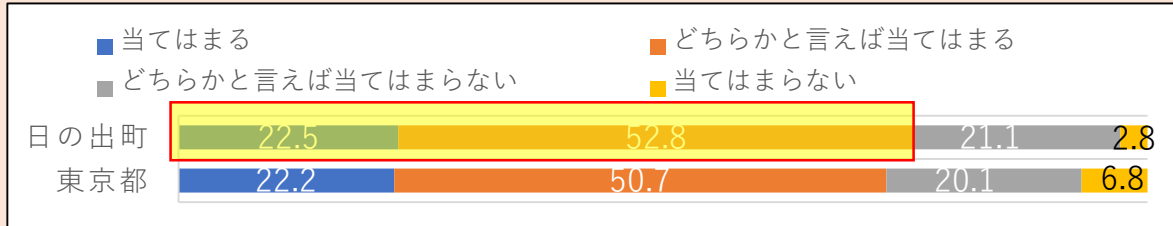
個の習熟度に応じた支援が必要。

【非認知能力】

小学校：先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



中学校：地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



- 教員の丁寧な声掛け等の成果と言える。
- 地域との「つながり」や「かわり」を大切に指導してきた成果と言える。

ビジョンとのつながり

→相互承認と多様性の尊重に基づく「協働」を大切にした教育

改善の方策

非認知能力の育成

具体的な取組

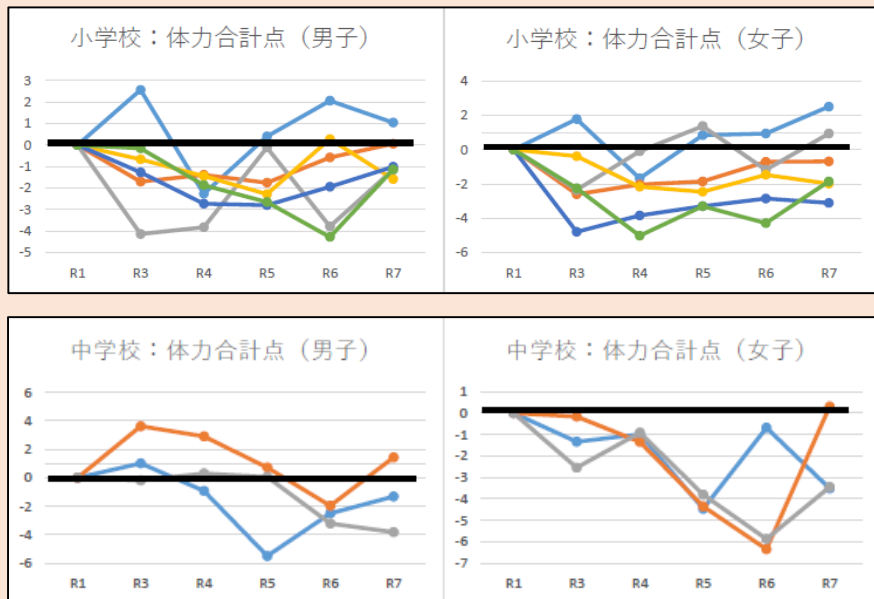
- 学校への授業改善方法を助言
 - ①指導方法の工夫
授業中の「発問」を工夫し、根拠や考えをアウトプットする機会を充実させる。
 - ②指導体制の工夫
D層の子供を把握し、支援員を配置したり、習熟度別クラスの強みを生かす。
- これからの学び共有開発委員会の設置
自立した学習者を育成するために
「学びのプロセス」
「思考スキル」
「デジタルリテラシー」
を育む授業改善を展開する。

②日の出町における体力の状況等

現状(令和7年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果)

※日の出町では、コロナ禍以前との比較によりその影響等を注視している。

男子は概ねコロナ禍以前の水準となっている。



● 課題点

小学校

- 身体の使い方

中学校

- タイミングよく全身運動すること
- 主体的に持続的運動に取り組むこと

ビジョンとのつながり

→ **子どものしあわせづくり**とまちの魅力を生かした学校づくり

改善の方策

**誰一人取り残さない
全ての子どもの可能性を引き出す**

具体的な取組

● 学校への授業改善方法を助言

小学校

- 動作の中で使う筋肉を意識させる
- スローモーションで動作を把握させる
- どのタイミングが最善か何度も試させる

中学校

- タイミングの良さが求められる場面を顕在化し探らせる
- 各単元の特性に触れる内容に持久性のある運動を合わせる

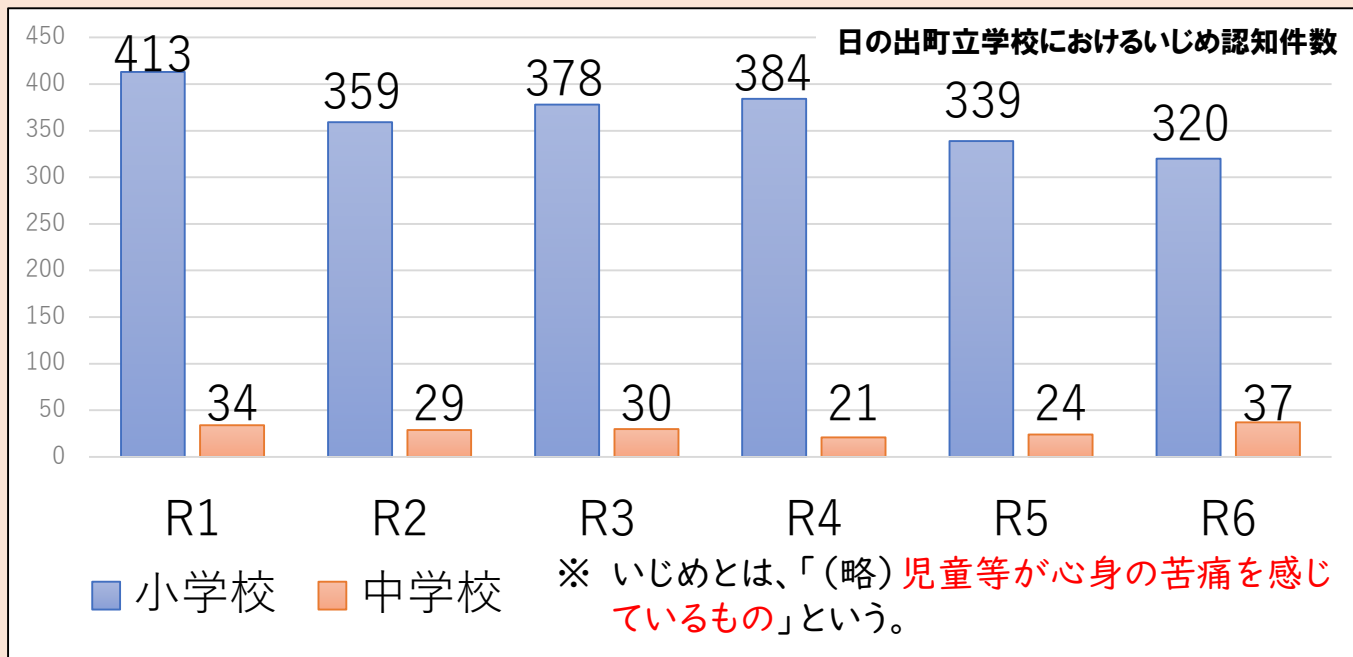
● 本調査のケガ予防等についての活用方法を助言

児童・生徒の苦手傾向

ケガ・体調不良が起こりやすい場面

- 握力や下半身の力強さ
- 鉄棒等からの落下
- 全身運動のタイミング 等
- 走り高跳び等の跳躍時の転倒 等

現状(令和6年度児童生徒の問題行動・ 不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)



近年増加傾向にある問題は、SNSを介したいじめである。

【小学校】※高学年

- ・SNS上での言動に関すること
- ・写真等をSNS上にアップロードすること

【中学校】

- ・写真等をSNS上にアップロードすること
- ・SNS上での言動に関すること
- ・対人関係による不安によるもの

ビジョンとのつながり

→子どものしあわせづくりとまちの魅力を生かした学校づくり

改善の方策

一人一人のウェルビーイングの実現
多様性の尊重

具体的な取組

● いじめ認知シートの月例提出と学校支援

- ・学校は、月ごとにいじめ認知シートを指導室に提出
- ・指導室は、シートを分析し、必要に応じて支援

● ふれあい月間(いじめ防止強化)調査

- ・いじめ等の状況について総点検を行い、現状や取組の効果等を把握し取組を改善

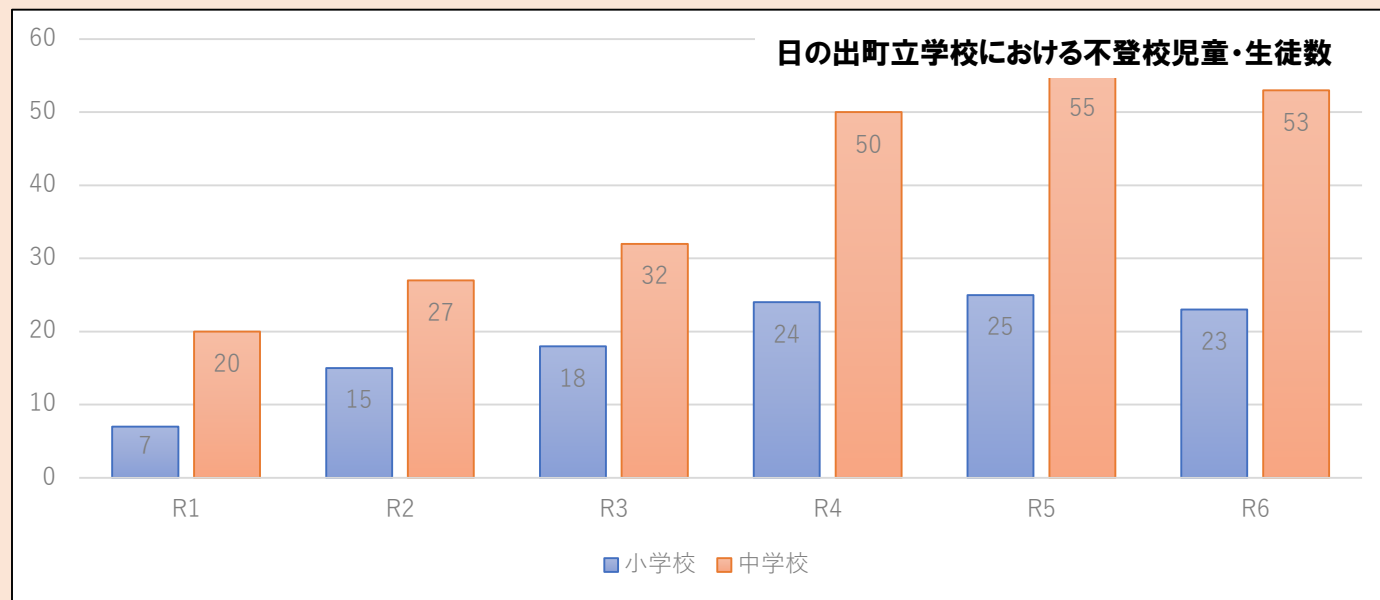
● 人権教育・道徳教育の推進

- ・若手教員育成研修、中堅教諭等資質向上研修で講義
- ・校長連絡会、副校長連絡会、生活指導主任連絡会での人権教育や道徳教育に係る内容の周知等

報告事項

④日の出町における不登校の状況等

現状(令和6年度児童生徒の問題行動・ 不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)



経年で見ると、増加傾向の状態が横ばいになりつつある。

- 不登校となった児童・生徒のうち、学校に「生活リズムの不調」「やる気が出ない等」の相談を児童・生徒や保護者がしていたケースが多い。
- コロナ禍の前後(R1とR6)で、不登校児童・生徒数が2.8倍増えている。
- 不登校出現率(R6)は、小学校で2.4%・中学校で10.3%である。

ビジョンとのつながり

→「**かかわり**」と「**つながり**」を大切にした教育

改善の方策

他者との「**かかわり**」と「**つながり**」

具体的な取組

- **別室登校支援事業（町単独事業費）**
 - ・気持ちのクールダウンや生活空間として活用、支援員による相談等を行える場を各校に整備
 - (成果) 欠席の長期化を防ぐことができている。
 - 「登校渋り」からの深刻化を予防できている。
- **教育相談室・適応支援グループ Let's**
 - ・心理士による教育相談等を保護者と協力して実施
- **出席状況シートによる学校支援**
 - ・学校は毎月、出席状況シートを指導室に提出する。
 - ・指導室は内容を分析しケース会議の必要性や外部関係機関との連携等について指導主事が助言する。
- **不登校対応巡回教員の配置（令和8年度）**
 - ・不登校生徒の支援、魅力ある学校づくり等を担う。



合併

70th・50th

町制施行

自然と共存していく日の出町の未来へ

報告事項

⑤日の出町立学校における働き方改革推進プラン (日の出町立学校の教育職員に関する 業務量管理・健康確保措置実施計画)

現状(令和4年度から令和6年度までの 教員の時間外在校等時間の状況)

校種	年度	45時間以上80時間未満の人数	80時間以上100時間未満の人数	100時間以上の人数	合計 (45時間以上)
小	6	17.3人	2.2人	0.1人	19.6人
	5	20.5人	1.9人	0.3人	22.7人
	4	24.5人	3.1人	1.0人	28.6人
中	6	11.3人	1.3人	0.1人	12.7人
	5	13.0人	0.8人	0.5人	14.3人
	4	12.6人	0.7人	0.1人	13.4人

【課題】 健康への懸念、教職の魅力低下、質の高い教員の確保

●令和7年6月、給特法の改正

教職調整額の基準となる額の段階的な引き上げ(令和13年1月より10%に)
業務量管理・健康確保措置実施計画の策定・公表

- ☐1ヶ月の時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%にする。
- ☐1年間の時間外在校等時間を360時間程度(月平均30時間程度)

計画の趣旨

→ 教員一人一人の心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することにより、学校教育の質の維持向上を図る。

改善の方策

組織全体での働き方改革の実行

具体的な取組

●「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

①学校以外が担うべき業務 ②教師以外が積極的に参画すべき業務 ③教師の業務だが、負担軽減を促進するべき業務の3つに分類し、業務の適正化を図る。

●地域との連携協働

- ・副校長補佐、スクール・サポート・スタッフ、エデュケーション・アシスタント、学習支援員等の地域人材の配置
- ・令和11年度までに全校コミュニティ・スクールに移行
- ・日の出町立中学校の部活動地域展開等を推進

●学校の業務改革、組織改革、意識改革の推進

- ・各学校と定期的に進行状況を確認し、本計画の内容に照らして支援